

BBL 『通商白書』 コメント

2023年7月13日

浦田秀次郎

RIETI

2023年版通商白書目次

- 第I部 岐路に立たされる世界経済
- 第1章 減速感を強める世界経済
- 第2章 世界経済回復に向けた課題
- 第3章 各国・地域の動向
- 第II部 世界経済が難局を迎える中で我が国がとるべき対応
- 第1章 我が国を取り巻くグローバル・バリュー・チェーンの強靱化
- 第2章 グローバルな成長の取り込みによる成長力の強化
- 第III部 施策編
- 第1章 ルールベースの国際通商システム
- 第2章 各国戦略

主要なメッセージ1：課題1

- 地政学的リスクの増大などにより不確実性が高まる国際経済環境の下で世界経済および日本経済が順調な成長を実現するにあたって直面する課題
- 「自由で公正な貿易秩序」と経済安全保障の両立
- ➡ ルールベースの自由な国際貿易秩序の再構築
- ➡ 信頼できるサプライチェーン構築

主要なメッセージ2：課題2

- 貿易収支・サービス収支が赤字化する（競争力が低下する）中で、日本企業・日本経済の競争力を向上させ、日本経済の安定的成長を実現するにあたっての課題

• 我が国の稼ぐ力の強化

-  化石燃料への依存低減
-  輸出品の単価の見直し
-  企業の海外展開と内なる国際化の推進

コメント

- 1. 世界経済と日本経済に関して重要な課題を抽出し、課題の背景にある問題点を調査・研究の成果を用いて説得的に説明し、提言を導出している。
- 2. 提言に関して、政府（政策）への提言と企業への提言をより具体的に示すことが望ましい。本文では、ある程度具体的な記述があるが、スライドにはない。例えば、WTO改革や内なる国際化（対内直接投資拡大）へ向けての日本政府の役割、輸出品単価見直しに関する企業への提言があると有益である。
- 3. 現在注目を集めている環境とデジタル経済の国際経済の視点からの分析が十分ではないように思われる。

質問

- 中国との付き合い方

- 中国は国家安全保障面でのリスクおよび不確実性の源である一方市場としては大変魅力的である（経済面では重要な機会）。
- このような状況にある中国に対して、政府および企業はどのように対応することが望ましいのか。

- 米国との付き合い方

- 米国は日本の同盟国であり国家安全保障だけではなく市場としても重要な国であるが、米国第一主義（保護主義）を優先し、国際協調に積極的ではない面もある（例えばWTOに対する見方）。
- このような米国に対して、日本はどのように対応すべきか？日本は米国に対して、国際経済において責任ある行動や国際協調の重要性を強調すべきではないか。

参考

- 国際化（GVCへの参加）による生産性向上効果
- S.Urata and Y.Baek “Impacts of Firm GVC Participation on Productivity: A Case of Japanese Firms” RIETI DP 22-E-021 (2022年3月) *Journal of the Japanese and International Economies (JJIE)*, vol.66, December 2022
- 約10000社の日本企業を対象に1994年から2018年のデータを用いて、GVC参加の生産性（TFP）への効果を傾向スコア・マッチング（PSM）と差分の差分法（DID）を組み合わせた方法で分析した。
- GVC参加は日本企業の生産性を上げる傾向を持つが、その効果については確定的ではない。但し、GVC参加による生産性向上効果は時間の経過に伴って拡大することが明らかになった。
- また、生産性が高い企業でもGVCに参加していない企業が多くあることも明らかになった。